

包括協定



協定書を手にする学校法人川崎学園の川崎理事長と片岡市長
(写真右から)

市は学校法人川崎学園と、医療・保健・福祉などの分野における連携協力に関する包括協定を締結しました。協定は、学園が運営する川崎医科大学や川崎医療福祉大学などが専門知識を生かし、市域を越えた適時適切な医療の提供や同大学の学生、卒業生が市の担い手として活躍するための仕組みづくりなどを実現するためのものです。7月24日、総合福祉センターで協定締結式が行われ、同学園の川崎誠治理事長と市長が協定書に署名。市長は、「市民の安心・安全につながる重要な協定。福祉政策の分野でも連携したい」と、川崎理事長は、「総社市と地域のニーズを共有し、医療の充実に努めたい」と述べました。市では、6月26日に吉備医師会、倉敷中央病院、倉敷平成病院と「地域医療連携に関する協定」を締結。このたびの協定も含め、市民が安心して医療を受け続けることができる体制づくりに努めます。

学校法人川崎学園と包括協定を締結

問い合わせ 政策調整課 (☎②8213)

医療・保健・福祉の分野で連携協力

生活困窮世帯の子どもの健やかな成長をサポート

問い合わせ 福祉課生活福祉係 (☎②8266)

協定書を手にする伊東倉敷市長、大森岡山市長、学校法人順正学園の加計理事長、片岡総社市長、近藤高梁市長 (写真左から)

子ども支援に関する協定書



市は学校法人順正学園と、「子ども支援に関する協定」を岡山市、倉敷市、高梁市と共に締結しました。協定の内容は、中学生以下の子どもがいる生活困窮世帯で、食料支援を希望する場合、市側が支援を要とする世帯の情報提供をし、同学園が無料で食料品の配布を行います。食料品は企業や団体から譲り受け、対象世帯に宅配便で発送。10月から受け付け、11月から月2回の発送を開始します。8月5日、吉備国際大学岡山キャンパスで協定締結式が行われ、同学園の加計美也子理事長、大森雅夫岡山市長、伊東香織倉敷市長、近藤隆則高梁市長、片岡総社市長が協定書に署名。市長は、「支援を必要とする子どもの明るい将来のため、全力でサポートする」と、加計理事長は、「おなかいっぱい食糧が食べることができない子どもたちが、健康に成長できるように活動を続けていきたい」と話しました。

回答にご協力ください!!



国勢調査 2015

国勢調査は日本に住んでいる全ての人を対象に、5年に1度実施される大規模な統計調査です。
9月中旬から、国勢調査員が皆さんのお宅に調査のお願いに訪問します。
調査関係者には、守秘義務があり、調査内容の秘密は保護されますので、ありのままをご回答ください。調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

調査の概要

10月1日現在、住民票の有無に関わらず総社市に住んでいるすべての人(外国人を含む)が対象です。調査項目は、世帯員の数や就業状態、従業地または通学地、住居の種類などです。

回答方法

◎インターネットでの回答

今回からパソコンやスマートフォンで回答が可能になりました。国勢調査オンライン窓口へアクセスし、国勢調査員から配布された調査対象者IDとパスワードを入力します。その後は画面の案内に沿って回答してください。



調査員がインターネット回答の利用案内と操作ガイド、利用者情報(IDとパスワード)を配布します。

【オンライン窓口へのアクセス方法】

- ・パソコンで市ホームページ (<http://www.city.soja.okayama.jp/>) のトップにある、国勢調査のバナーをクリック
 - ・スマートフォンで右のQRコードを読み取る。
- ※直接ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に (<http://www.e-kokusei.go.jp/>) を入力してもアクセスできます。

●パソコンで回答する場合

総社市のホームページのバナーをクリック



●スマートフォンで回答する場合

右のQRコードを読み取ってください。

クリック!!



QRコード

●調査票での回答

調査員が調査票や記入の方法、郵送用の封筒などを配布しますので、鉛筆かシャープペンで記入してください。



問い合わせ 国勢調査コールセンター (☎0570-07-2015)

I P 電話の場合 (☎03-4330-2015)

(土・日曜日、祝日も利用できます。午前8時から午後9時まで)

政策調整課 国勢調査担当 (☎②8595)